

平成 22 年度当初予算 施策別概要

5 3 1 地域の特性を生かした地域づくり

(主担当部：政策部)

- 53101 多様な主体の参画による地域づくり (政策部)
- 53102 特定地域の活性化 (政策部)
- 53103 過疎・離島・半島地域の振興 (政策部)
- 53104 流域圏づくりの推進 (政策部)
- 53105 「こころのふるさと三重」づくりの推進 (政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 自治体、住民等が

(意図) 協働して地域づくりを行い、地域の総合的な活力が向上している

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
地域の活動などに参加している住民の割合	目標値	-	18.2%	18.8%	19.4%	20.0%
	実績値	17.6 %	15.5%	15.2%		

一万人アンケートの「地域の人のつながりと活動に関する意識」についての調査で、NPOやボランティア、地域の活動などへの参加状況について、「積極的に参加している」、「お付き合いで参加している」と答えた人の割合 (政策部企画室「一万人アンケート」)

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
特定地域の利用率	目標値	-	29.1%	30.6%	31.2%	43.0%
	実績値	28.7%	29.8%	30.2%		
きれいな水質を保持している一級河川の割合	目標値	-	89.5% (H18)	90.2% (H19)	90.6% (H20)	91.0% (H21)
	実績値	88.5% (H17)	90.1% (H18)	89.8% (H19)		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 多様な主体の協働による地域づくりが円滑かつ効果的に行われるよう、県と市町が連携・協働して地域づくりの基盤整備に向けて取り組んでいく必要があります。
- ・ 木曾岬干拓地については、当面の土地利用を進めつつ、将来の都市的土地利用に向けた検討を進める必要があります。地方拠点都市等の特定地域の振興については、関係機関との連携のもと、時代の変化への対応もふまえた見直しを行いながら、地域のニーズに合った利活用を進めていく必要があります。
- ・ 過疎・離島・半島地域等の条件不利地域においては、人口減少と少子高齢化の著しい進行による地域の活力低下が深刻な課題となっています。このため、引き続き地域コミュニティの維持確保、生活環境等の基盤整備を進めるとともに、地域資源を活用した地域の創意工夫による自立した地域づくりを進めていく必要があります。

- ・ 流域圏づくりについては、宮川流域ルネッサンス事業基本計画の計画期間が平成22年度で終了することから、これまでの取組を評価・検証していく必要があります。
- ・ 「こころのふるさと三重」づくりについては、地域をより良くしていこうとするパートナーグループの活動支援を効果的に行うとともに、ネットワーク化を促進していく必要があります。

<平成22年度の取組方向>

地域づくりの基盤整備に向けて、引き続き「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」を開催し、県と市町が連携・協働して市町の地域づくりの課題解決に取り組みます。

木曾岬干拓地については、当面の土地利用を進めつつ、将来の都市的土地利用に向けた検討を進めるとともに、地方拠点都市等の特定地域の振興をはかるため、関係機関との連携を密にし、また、時代の変化に柔軟に対応しながら、地域のニーズに合った利活用を進めます。

現行過疎法失効後の新たな過疎対策について、国の動向を踏まえて総合的に取り組むとともに、過疎・離島・半島地域等の条件不利地域の振興について、関係市町と連携して自立した地域づくりを進めます。

流域圏づくりについては、県内各流域で活動する団体間の交流を図るとともに、宮川流域ルネッサンス事業のこれまでの取組を踏まえ、その成果を活かした事業の方向性を検討していきます。

「^{うま}美し国おこし・三重」については、引き続き、座談会を開催し、パートナーグループへの登録促進に努めるとともに、その活動の活性化に向けた支援やネットワーク化に取り組みます。また、新たにテーマに基づき全県的に展開する取組を、パートナーグループを始めとする多様な主体の参画を得て進めていきます。

<主な事業>

(重) 地域づくり調整事業【基本事業名：53101 多様な主体の参画による地域づくり】

予算額：(21) 63,871千円 (22) 65,974千円

事業概要：県と市町で構成する「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」において、地域づくりの基盤整備に向けて取り組むとともに、市町の地域づくりに関する課題解決に向けて必要な支援に努めることにより、多様な主体による地域づくりを推進します。

木曾岬干拓地整備事業【基本事業名：53102 特定地域の活性化】

予算額：(21) 1,510,464千円 (22) 1,288,582千円

事業概要：当面の土地利用のため、干拓地内の北側で盛土工事、南端部で環境保全措置としての保全区整備、環境影響評価事後調査、排水機場等の維持管理、干拓地へのアクセスに必要な橋梁工事を実施します。あわせて、これまでの調査結果を踏まえて、将来の都市的土地利用の検討に必要な調査等を進めます。

(重) 過疎市町等地域づくり支援事業【基本事業名：53103 過疎・離島・半島地域の振興】

予算額：(21) 24,000千円 (22) 24,000千円

事業概要：過疎地域等において、交流・定住人口の拡大や集落の将来ビジョンの策定などに取り組む市町を支援するとともに、国の新たな過疎対策の動向を踏まえた取組や地域の活性化策として移住・交流の取組などを促進します。

日本一の宮川をみんなで守ろう！推進事業【基本事業名：53104 流域圏づくりの推進】

予算額：(21) 4,866千円 (22) 3,972千円

事業概要：多様な主体と連携・協働して宮川流域ルネッサンス事業を推進するとともに、平成22

年度末で計画期間が終了する宮川流域ルネッサンス事業基本計画に基づくこれまでの取組を評価・検証し、その成果を活かした今後の事業の方向性を検討します。

(舞)「^{うま}美し国おこし・三重」総合推進事業

【基本事業名：53105「こころのふるさと三重」づくりの推進】

予算額：(21) 167,969千円 (22) 297,671千円

事業概要：平成21年度に引き続き、座談会の開催やパートナーグループの育成・支援、担い手育成のための研修、広報宣伝活動等を行うとともに、テーマに基づき全県的に展開する取組を、パートナーグループを始めとする多様な主体の参画を得て進めます。